

みぶの里で ボランティア

連合長野上伊那地協

連合長野上伊那地域協議会（赤羽崇議長）は6日、連合長野結成30周年記念事業としてボランティア活動を伊那市美簾の複合福祉施設みぶの里で行った。赤羽議長ら6人が参加し、窓拭きや清掃に取り組んだ。

赤羽議長によると、連合長野は2年前に結成30周年を迎えたが、新型コロナウイルス

の感染拡大を受けて全体での式典を取りやめ、地協単位で地域に特化した社会貢献活動を行うことになった。上伊那地協は伊那市社協にボランティア登録し、同施設の紹介を

受けた。

参加者は半日ほどかけて窓拭きや軒下のすす払いなどに汗を流した。赤羽議長は「連合」として春闘やメーデーのイメージが強いと思うが、こ



みぶの里の窓拭きや清掃に取り組む参加者

（高木敏雄）

うした社会貢献活動を通じて地域とのつながりを大切にしていきたい」と話した。13日にも行う予定。